

5. 精神および行動の障害 (F172)

文献

西澤千絵、八重樫久都、井上正志、他. 皮電計および円皮鍼(刺さない)を使用した NADA プロトコールによる耳針の喫煙に対する影響. *東洋療法学校協会学会誌* 2016; 39: 147-151. 医中誌 Web ID: 2016311033

1. 目的

National Acupuncture Detoxification Association (NADA) プロトコールによる耳鍼 (原文表記は「耳針」) による禁煙に対する効果を評価。

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

信州医療福祉専門学校、長野、日本

4. 参加者

同校の職員および学生の喫煙者 13 名 (平均年齢 31.3±10.2(SD))

5. 介入

Arm 1: 無刺激群 3 名 (耳鍼の貼付は行わない)

Arm 2: NADA 群 5 名 (耳の神門・交感・腎・肝・肺に、刺さないタイプの円皮鍼(セイリン製パイオネックス・ゼロ)を貼付、週に 2 回貼り直し)

Arm 3: not-NADA 群 5 名 (耳の神門・胃・肩・目・舌に、刺さないタイプの円皮鍼(セイリン製パイオネックス・ゼロ)を貼付、週に 2 回貼り直し)

6. 主な評価項目

8 週間にわたり喫煙本数を調査。週に 1 回、禁煙によるストレスを心拍変動 (HRV) にて観察。指尖容積脈波も計測。

7. 主な結果

1 週目と 8 週目の平均喫煙本数は、無刺激群 10.7±5.0→12.4±4.4 で有意差なし、NADA 群 9.2±6.8→6.4±6.6 で減少傾向あるも有意差なし、not-NADA 群 10.9±5.9→9.8±5.5 で有意差なし。8 週目の無刺激群と NADA 群の間には有意差あり、無刺激群と not-NADA 群の間には有意差なし。HRV および指尖容積脈波の各指標はいずれも有意差なし。(数値は Abstractor が小数点以下 1 桁で四捨五入して表記)

8. 結論・意義

NADA のプロトコールを使用した耳鍼で喫煙本数を減少させることができ、末梢血管にも良い影響を与えることがわかった。

9. 鍼灸医学的言及

NADA 群と not-NADA 群の本数の差は選択した経穴によるものと推測されるが詳細は今後の検討としたい。

10. 論文中の安全性評価

記載なし

11. Abstractor のコメント

刺さないタイプの円皮鍼を用いており、海外で耳介刺鍼による耳介軟骨炎などの有害事象が報告されていることを踏まえると、今回用いられた手法は安心して使用できる。しかしあまりにも n 数が少ないので、このデータだけで結論を下すのは困難である。米国 NADA の耳鍼治療プロトコールについては、鍼の特異的効果および経穴の特異性について検証する必要性が指摘されると思われる。一方で、依存症離脱という臨床実践的観点からは、従来手法との優劣を比べる実用的 (pragmatic) 試験のほうが有意義であり、それぞれに適した対照群を設定した試験が将来実施されることを期待したい。安全性については多数の実践例からデータを収集し分析する必要がある。

12. Abstractor and date

山下 仁 2022.3.11